

平成26年度第1回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 平成26年5月20日(火) 午後3時00分～3時45分

場 所 保健センター1階大会議室

出席委員 13人

会 長	南 道 子 委員		
委 員	酒 井 文 子 委員	齊 藤 幸 穂 委員	
委 員	雀 部 かおり 委員	鈴 木 祥 江 委員	
委 員	高 木 有 希 委員	鳥 羽 浩 子 委員	
委 員	松 嶋 あおい 委員	吉 田 千 晴 委員	
委 員	志 田 尚 紀 委員	土 屋 直 己 委員	
委 員	嶋 崎 敏 男 委員	松 井 大 平 委員	

欠席委員 3人

島 崎 聡 子 委員	菊 谷 武 委員
柿 崎 健 一 委員	

事務局職員

健康課長	高 橋 啓 之
健康課健康係長	中 島 明 美
健康課健康係主任	千 葉 祐 生
健康課健康係主事	田 中 昌 子
健康課健康係主事	牧 野 恵

傍 聴 者 1 人

(午後3時00分 開会)

○南会長 みなさん、こんにちは。はじめさせていただきます。

お忙しいところをご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、これより平成26年度第1回小金井市食育推進会議を開会させていただきます。

まず、審議事項に入る前に、きょうの委員の出欠と配付資料について、事務局から説明をお願いしたいのですけれども、よろしいでしょうか。

○高橋課長 本日の委員の出欠でございます。島崎委員と菊谷委員、それから、柿崎委員の3名の委員から欠席というご連絡をいただいております。

会長を除きまして12名の委員の出席となっておりますので、審議会としては成立していることをご報告いたします。

それから、資料でございます。

事前に送付させていただいたものとして、本日の次第、それから、資料1「小金井市食育推進会議委員名簿」です。これは、後ほどご紹介いたしますけれども、本日からPTA連合会の委員の方にご出席いただいておりますので、この方を加えた最新のものとなっております。それから、資料2「食育ミニパンフレット」でございます。次に、資料3「食育ホームページ」のチラシ、資料4「小金井市食育行事实行委員会設置要綱(案)」でございます。資料5といたしましては、「平成25年度第4回食育推進会議における審議内容についての提案一覧」、前回の会議のときにいろいろご提案をいただいたので、それらについて事務局でまとめたものでございます。最後に資料6「第4期小金井市食育推進会議の審議内容について(案)」ということで、今期の食育推進会議において、こういった形で審議をしていきたいと思いますということについて、事務局として案をお示したものでございます。

それから、机の上に会議録を配付させていただいているかと思えます。前回の審議会における会議録で、校正の段階で修正をいただいたものについては、お配りしたものに反映してございます。

過不足等ありましたら、事務局にお願いいたします。皆さん、よろしいでしょうか。

では、会長、お願いします。

○南会長 どうもありがとうございます。

では、今回の審議会より参加いただいた吉田委員、もしよろしければ、一言ご挨拶をお願いしたいのですけれども。

○吉田委員 前回までの笹さんのかわりになりますけれども、PTA連合会からまいりました吉田千晴と申します。よろしくお願いたします。

私は、小金井第四小学校で、昨年度ですけれども、PTA会長をさせていただいておりました。こういう会議はふなれなもので、かなり緊張しているのですけれども、済みません、よろしくお願いたします。

うちは、高校1年生の女の子と、中学校2年生の男の子と、小学校3年生の女の子がおります。食育

ということで、思春期の10代の女の子と、真ん中の中学校2年生がちょっと運動機能障害がありまして、今、一中に通っているのですけれども、障害を持った子供の食育と、思春期の女の子の食育と、あと、小学生の、幼児からずっときている、体をつくるということの食育、そして、もう母は亡くなったのですけれども、病気をした介護食の食育、あと、もうやめてしまったのですけれども、実家が八百屋だったので、野菜を売るということの苦勞、あと、父方の実家が農家だったので、よく遊びに行って、もぎたてのものを食べたり、お米をつくる農家の苦勞、農家の家のとれたての野菜臭さということ、私はそういうものを肌で感じながら育ち、今、子供たちを育てているというか、子供に育ててもらっているといえますか、そういう現状です。

そして、小学校としても、去年の夏から給食が民託になりまして、そういうことでの保護者の不安とか、いろいろなことを私は肌で感じてくることができました。そのことが少しでも保護者の声ということで、何かお役に立てればいいなと思ってお引き受けしたのですけれども、今、初めて伺いまして、お役になんか立てない、私が勉強させていただく場になるというふうに思っております。なので、いろいろなことを教えていただけたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

○南会長 ありがとうございます。

経歴を聞きますと、この審議会にぴったりの人材だなという感じがしますので、ご意見よろしく願いします。

それで、資料1は、既に説明いただいたのですけれども、吉田委員への変更がされています。

そして、議事録なのですけれども、もし自分の発言した内容に訂正箇所があるようでしたら、この会議が終わるまでに事務局のほうにお願いします。私などもかなり訂正させていただいて、やはり話し言葉と文章にした感じでは、削除してもらいたい前置詞とか、いろいろありますので、そういうのをお願いしました。

それでは、内容がよければ、事務局のほうで情報公開の手続を進めていただきたいと思います。

続きまして、意見・提案シートについて、事務局からの報告でよろしいでしょうか。

○高橋課長 この審議会に意見・提案シートを導入することに至って、ホームページ等で公開しておりますが、本日の会議に関する意見・提案シートの提出はされておきませんので、ご報告だけということでご理解いただければと思います。

○南会長 ありがとうございます。

本日の議事については、次第に書いてありますように、(1)食育月間行事について、それと(2)今後の審議内容の2つです。

それでは、1番目の食育月間行事について、まず、事務局から説明をお願いいたします。

○千葉主任 前回の審議会の中でもご審議いただいた部分があるのですが、まず、6月に開催されるイベントについてご報告させていただきます。

6月14日の商工会様が主催する名物市に市の経済課が出展する予定であれば、そちらで食育のチラシもあわせて配布してはどうかというご提案をいただきましたが、経済課からはブースを出展しないということでしたので、そのかわりといたしまして、前回の審議会の中で、6月1日に青年会議所様が主催するまちたからフェスタにJA東京むさし小金井地区の青壮年部様でフェスティバルコートにて野菜を販売予定というお話を伺っておりましたので、土屋委員にご相談をさせていただいたところ、JA東京むさし小金井地区青壮年部様から了承をいただきましたので、まちたからフェスタに健康課職員が伺いまして、野菜の販売のお手伝いと食育のチラシの配布をさせていただくこととなりました。

当日配布させていただくチラシにつきましては、資料2「食育ミニパンフレット」、資料3「食育ホームページレシピチラシ」ということで、皆様の机にはカラーのものを配付させていただいておりますけれども、こちらの2点を当日、来場者の方に配布させていただく予定であります。

また、こちらも前回の審議会で申し上げたのですけれども、6月1日、まちたからフェスタの開催日と同じ日に、保健センターにて小金井歯科医師会様主催の「小金井市民の歯と口の健康」も開催されますので、そのチラシもまちたからフェスタの会場で配布させていただきたいと考えております。

続きまして、9月のキッズカーニバルについてですが、前回の審議会にてキッズカーニバルへ出展するという方向でご了承をいただいたところです。その実施に向けて、審議会の中では時間にも制約があるということで、出展内容等を煮詰めることが難しいと考えられるため、資料4「小金井市食育事業実行委員会設置要綱(案)」のとおり、実行委員会を立ち上げまして準備を進めさせていただきたく、委員の皆様からご意見をいただきたいと存じます。

以上です。

○南会長 ありがとうございます。

まずは、6月のイベントで、まちたからフェスタで食育の啓発活動を行うことについては了承いただけますでしょうか。

ありがとうございます。

次に、9月のキッズカーニバルの件についてですけれども、実行委員会を立ち上げて、例年どおりですかね、進めていくという、この点についてもよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

事務局のほうで、どのような形で出展の準備をするかということについてもご説明お願いできますか。

○千葉主任 平成24年度から実行委員会形式をとらせていただいております、実施の状況につきま

して、平成24年度は13名の実行委員で、準備のための打ち合わせを4回、反省会1回を開催いたしました。13名の内訳ですけれども、食育推進会議から5名、公募市民から4名、健康課から4名となっております。

昨年度、平成25年度は、14名の実行委員で準備のための打ち合わせ2回、反省会1回を開催しました。14名の内訳ですけれども、食育推進会議から4名、公募の市民の方から5名、健康課から5名となっております。

平成26年度の実行委員会に向けて、実は、昨年冬に一度広報で募集をかけさせていただいたのですが、その際に応募はありませんでした。本日了承いただきましたので、また6月15日号の広報で公募をさせていただければと考えております。

あと、先ほどから公募市民の方というお話をさせていただいているのですが、この中には、もちろん市報をごらんになって応募いただいた方もいれば、何度か推進会議でもお話に出ています食育ホームページ編集委員会の方からもご参加をいただきまして実施してきたところです。

事務局からは以上です。

○南会長 ありがとうございます。

では、出展の準備については事務局のほうでやっていただくということでお願いいたします。

それでは、2番目なのですが、食育コーディネーターのことも含めて、今後の審議内容について審議したいと思いますけれども、事務局からまず説明をお願いいたします。

○千葉主任 まず、資料5、前回の審議会における提案一覧をごらんください。前回の審議会の中で、主に8項目のご提案をいただきました。それぞれ関連するものもありますけれども、食育という多岐にわたる分野について、前回のようにフリートーキングのような形で審議いただくよりも、回ごとにテーマを設けたほうが、より具体的な審議をいただけるのではないかと事務局のほうで考えまして、資料6といたしまして「第4期小金井市食育推進会議の審議内容について（案）」を作成いたしました。

今期の食育推進会議の委員の皆様は2年間となり、1年に4回以上の開催となっております。今期の食育推進会議は、平成26年2月と3月に2回開催しておりますので、スケジュールどおりにいきますと、本日を含め6回の審議会です。一定程度まとまったご意見をいただくこととなります。

それでは、資料6についてご説明をいたします。

まず、開催予定についてですが、おおむね3カ月ということで、括弧書きにて開催月の案を記載させていただきました。

続きまして、食育行事についてですが、先ほど今年度の方向性についてご審議をいただいたところですが、11月に開催予定の第3回食育推進会議の中で、9月のキッズカーニバル実施の状況を報告させ

をいただいて、次年度の方向性についてご審議いただきたいと存じます。

続きまして、進捗状況報告についてですが、前回の審議会でも申し上げましたとおり、市の決算がまとまったところで各課に調査を行いまして、8月に開催予定の平成26年度第2回の食育推進会議でご報告をさせていただきたいと考えております。

続きまして、審議内容のところですが、回ごとのテーマについてなのですが、以前にお配りしましたオレンジ色の冊子「食育推進計画」をお持ちでしょうか。もしないようでしたら、事務局に何冊かございます。よろしいでしょうか。では、こちらの計画の14ページをごらんください。

本計画では、多岐にわたる食育の推進に向けまして、大きく3区分、(1)食育の土台づくり、(2)生涯にわたるライフステージに応じた食育推進、(3)“Koganei-Style”の地域展開という3つの展開によって総合的な推進を図ることとしております。

さらに、その展開を、例えば、食育の土台づくりで申し上げますと、①啓発活動の充実、②情報の整備といったように8項目に分けて具体的な施策を掲載しております。この各論の項目に合わせて回ごとにご審議をいただき、審議いただいたものを積み重ねていきまして、最後に総括をいただいて、提言書としてまとめていただくという進行を、今回、事務局(案)ということでお示しさせていただきました。

続きまして、コーディネーターについてですか、こういった多岐にわたる食育の各論のご審議をいただいでいく中で出てきた課題ですとか、さらに強化したほうがいい部分のご審議もいただきまして、コーディネーターの方にはどういったことを調整いただくとよいか、役割を定めまして、その役割に応じて、この推進会議の中のどなたかに任命をいただくと、小金井市の食育、さまざまな部分を包括いただけるのではないかと考えました。

以上です。

○高橋課長 若干補足しますと、資料6を見ていただきたいのですが、進捗状況報告という、これは25年度の市役所の各課がやった事業について、我々のほうで調査をして、フォームも、審議会にお示したかと思えますけれども、そういった形で市の事業が25年度、こういうふうに進みました、何をやりましたというのをご報告します。そういったところが全体の市のやっている事業の捉えになってきて、審議する内容なのですが、食育は範囲が広いので、ノープランで審議を進めていくと、いろいろなところに飛んでしまって收拾がつかなくなるのではないかという思いもありました。ですので、進捗状況で市の活動状況がある程度わかった、それに基づいて計画の章立てに沿って、テーマを少し絞りながら審議をしていったらどうかということです。

最終的には、食育推進基本条例の第14条に、推進会議は、推進計画の作成及びその進捗状況の検証を行うとともに、必要な推進策を検討し、市長に意見を述べることができると規定されておりますので、

この期の推進会議において計画の進捗状況の検証などを行いながら、コーディネーターを設置していくというのが1つの大きな目標なのですが、それと同時に、市長に意見を言うことができるわけですから、最終的に審議会として何かまとまった提言書なり、意見書なりをまとめられれば、今期の審議会の成果物として残せるのではないかなと考えているところであります。

補足としては以上です。

○南会長 ありがとうございます。

一応、事務局で、小金井市食育推進計画にのっとって案を出していただいたのですけれども、前回の審議会で事業者の方に、自分たちのところではどういうことができるかということと話していただいて、市民の側の方には、市民側からこういうことをしてほしいというようなことを次の回までに考えてきてほしいというように宿題を出したと思うのですけれども、何か考えていただけたことはありますでしょうか。

事務局側で出した案に沿ってやって構わないでしょうか。よろしいですか。では、この案にのっとった形で行いたいと思います。きょうは、ですから、総論ということなのですけれども、事務局のほうで総論についてというのは何かありますか。こういうことをしてほしいということはあるですか。

○千葉主任 こちらの総論の部分なのですけれども、今期の食育推進会議の方向性を決めるという意味で総論という言葉を使わせていただきました。

前回、委員の皆様から活発なご意見をいただきましたので、今の私どもの案についても、ご意見をいただけるのではないかと考えておりました。

○南会長 では、11月、1月についてのことでもよろしいわけですね。私が言っただけは何なののですけれども、11月のライフステージに関しては、1回ではとても終わらないと思います。ですから、ライフステージの中の乳児期とか、学齢期とか、どれかポイントに、特に高校・成人・高齢者と一くくりになっているのですけれども、これはやはり分けないとだめだと思うのですね。それぞれやるのがかなりあると思いますので、1回ではとても無理かなと。本当に総論的なことになってしまうと思うので、もしこの審議会が何年も続くようでしたら、ライフステージの最初のところと乳児期のところ、もしくは幼児までとか、ポイントを決めたらいかがかなと思うのです。そして、次めぐってきて、次の年は学童期、いわゆる小学校という形にしてはどうかと思うのですけれども、どうでしょうか、酒井さん。

○酒井委員 年4回やるということなののですけれども、先生、今、おっしゃったように、ボリュームがあるので分けてということなののですけれども、例えば、回数が1回ふえてみたいな感じで、2回に分けてやるとかということは可能なのでしょうか。

○高橋課長 予算の問題もありますけれども、できなくはないかなと思いますが、1回ふやしておさま

なのか、それとも会長がおっしゃるような形で、もうちょっと深く突っ込むために、計画全体をなめるという形ではないにしても、できるところまで今期でやっ払いこうという考え方でいくのか、どちらもありかなと思いますが、計画全体をなめるというふうにやっ払いってしまうと、何か消化不良に終わってしまうこともあるのかなという思いもあります。

○雀部委員 多分、平成27年度の1回、2回で総括して提言書で一くくりというふうを考えているので、これをもうちょっとずらせるものならずらして、今回の推進会議はここをじっくり2年でやる、この2年の任期の中でやるぐらいの勢いでもいいのかなとか思ったりして、まずはコーディネーターをつくろうというところまで持ち込むのにしっかり議論をしたほうが、スタートとしてはいいのではないかなと思うので、役割と任命も、27年度の第1回となっていますけれども、もうちょっと議論を重ねた上で、スタートは遅くなりますけれども、任命はもうちょっと後という形でもいいのかなと。提言も、2年しっかり話して提言したほうがいいのかなともちょっと思ったり。その分、後ろに最後がずれ込むと、ライフステージのところをもうちょっと分割して、例えば、今回は乳幼児と保護者についてとか、学齢期までについてとか、2回に分けたり、3回に分けたりするといいのかなということです。2回目ですごくボリュームが出てくることは予想されるので。

○南会長 例えば、コーディネーターの条例を制定するために何ができるかということで、これらのことを審議していくというのもポイントかと思うのですね。コーディネーターを置くとしたら、この食育の土台づくりのための啓発活動の充実は、何がそのコーディネーターに任せられるか。それから、情報の整備というのはどういうことをお願いできるか。あと、乳幼児期と保護者のライフステージの食育については、こういうことをコーディネーターにお願いできるのではないかという、そのコーディネーターを置くという前提のもとに、今、事務局が提案したことを審議していくというのも1つの案かなという気もするのです。

○酒井委員 一応、提言が最終になっているのですけれども、例えば、1番、2番の途中経過の提言というのもおかしいですけれども、そういう形にして、次は来期に持ち込むとかという形もありなのですかね。

○高橋課長 事務局です。

ありだと思います。必ずしも計画を全部なめなければということではないし、もっと極端なことを言ってしまうと、例えば、提言とか意見書を出すか、出さないかということも含めてというものもあるのですね。別に出さないから何だということではないのですけれども、ただ、こうやってお集まりいただいて2年間やっ払いいくわけなので、最後に何か成果物みたいなものがあつたほうがいいのかとちょっと思った部分もあつて、こういう書き方にしてあるのです。

ですから、酒井副会長がおっしゃるように、途中まで審議をした段階で一定まとまりがあって、その議論をした結果をまとめて報告を出すということも想定としてはできると思いますし、会長がおっしゃるように、コーディネーターの設置というところが1つの課題ですから、こういう計画の中のそれぞれの項目の議論を通して、コーディネーターの役割をここで煮詰めていくということももちろんできるかなど。あれもこれも盛り込んでいくと、私の中では整理が大変かなと思える部分と、一方で、皆さんから自由にご意見をいただいてという思いと、両方混在している状況です。

○酒井委員 酒井ですけれども、ただ、28年度になると、また次の見直しが出てくるので、この2年の中で、中途半端にしてたくさん残してしまうと、来期はこれのまた見直しの時期ですね。そうすると、またそこでボリューム的にどうなのかなということもあるので、その辺、考えないと、来期の方たちが大変な思いになってしまうということもあるかもしれないですけれども、ちょっとまとまっていないのですが、いろいろなことが想定されて、先生がおっしゃったような感じも大事だと思いますし、雀部さんがおっしゃっているように、じっくりやっていくというのでしょうけれども、一定の成果みたいなものも上げていただけると、集まっているかがあるという気持ちもあるしみたいな、今、私もいろいろなことを想像してしまいます。

○高橋課長 気持ちは酒井副会長と同じなのですけれども、私も迷うところであります。審議会の任期は2年なので、来年のところまで引っ張ってしまうと、次はもう改選という動きにもなってくるので、事務局的には、コーディネーターというのが1つの課題なので、そこに対しては一定の結論を見出したと思います。

あと、審議内容のところに書いてある各論のところですね。ここについては、自由闊達に、といっても、皆さん、いろいろなお立場でこの審議会に集まってきていただいていることもあって、どうしても議論が散漫になりがちになるのではないかなと思えるので、一定のルールというか、方向性として、計画の中の各論の部分を1つの目安として捉えていただければ、その範囲でいろいろなことをご提案いただいたり、ご指摘いただいたりしたほうがいいのかと思います。

一応、市としては、この計画をつくって、各課にいろいろな事業が振られていて、それをこの計画期間の中で進めていこうという立場でおりますので、計画の文章の中で、新たな項目とか、新規の事業に対して弾力的に運用できるような表現にはしたつもりですけれども、余り計画と無関係な方向性に進んでいくというのは、行政側としてはいかなものなのかなという思いがあります。

ですから、必ずしもこのとおりでなくても、計画の項目の中に関連するような形で、ここにこう書いてあるけれども、私はこう思うとか、これについてはどうなのだからというような方向でご意見をいただくのは全然問題ないのかなという感じです。あとは審議会の皆様の中である程度の合意形成ができれば、

今回、案ということで出していますので、別にこれにとらわれる必要は全くないかなと思っています。

○南会長 ありがとうございます。

何かご意見ありませんでしょうか。

○酒井委員 いいですか。2番のライフステージについてなのですが、過去の審議会でも、1番、2番は結構いろいろ話し合われてきたりしていると思うのですね。あと、行政の施策の中にもそういうのが入っていると思うのですが、意外と盲点が3番かなという感じというか、今までそんなに。

○南会長 そうですね。私なども自分の職業から言わせてもらおうと、学校給食が終わると途端に食生活が悲惨になるのですね。高校生からね。そういう意味では、3番は非常に重要だと思います。特に独身男性ですね。下宿して、社会人になって結婚するまでの食生活というのは大変悲惨な状況なので、そういう人たちの啓発活動ができるととてもいいかなと思うのですね。

では、事務局で出していた案に沿って審議するという事はよろしいでしょうか。一応、これにのっとってやるということ、きょうの段階では了承ということで。

○鈴木委員 鈴木です。

希望なのですが、先ほどお話が出ていた長野の食育の取り組みですとか、そういう他市の事例も、時間があれば勉強したいと思います。

○南会長 それは市のほうで調査というか、情報を集めてもらえますでしょうか。

○千葉主任 できます。余り大きくなると難しいかもしれませんが、具体的な取り組みでどんなことがとかいうのがあれば、我々のほうでお調べすることはできます。かといって専門的に何かツールがあるかというのと、そうでもないで、基本的にはインターネットなどを通して、検索をしながら調べていくという形になるのではないかと思います。

○南会長 では、8月までに、啓発活動の充実や情報の整備ということで、自分がこうしてほしいようなこと、あと、事業者の方も、こういう情報を発信したいとか、そういう提案がありましたら、ぜひお願いしたいと思います。3カ月時間がありますので、何かしらを持ち寄って審議できたらと思います。

○千葉主任 よろしいでしょうか。今、お話しいただいた中で、例えば、次回の8月ごろに開催予定のものなのですが、準備をする事務局としてもちょっと悩んだ部分があるのですが、進捗状況報告をさせていただく予定になっているのですが、これまでは計画全体の進捗状況が十何ページとか、二十何ページとかにわたるものなのですが、それをお配りして、まとめて説明をさせていただいて、皆様から質問ですとか、ご提案をいただくという形式をとっていたので、次回、一定お時間をいただきまして、その次に、食育の土台づくりと情報の整備ということで、(1)の食育の土台づくりのところはページ数もちょっと少ないということもありまして、審議の状況によっては、例えば、乳幼児・

保護者の分ぐらいまでこちらで準備をさせていただいて、入れれば順次入っていただくということでも、進行上、問題ないように準備をしておきますので、そのご報告です。

また、先ほど他市の事例という話があって、皆様に集まっていた1回目の会議で、他地区の事例で、都内の食育応援団の話とかしていただいたかと思いますが、もちろん私どものほうで調べてということであれば調べしますし、酒井副会長からのユネスコの和食の冊子を資料としてお配りしましたがけれども、例えば、インターネットでこういうニュースを見たのでということで、何かいい資料があったら私どもにお伝えいただければ、そちらを会議資料として皆様に事前に送付することももちろんできますので、何かご提案等ありましたら、事務局までおっしゃっていただければと思います。

○南会長 ありがとうございます。

情報の整備ということでは、食育ホームページなど、かなり中心的な議論の内容になるかと思うのですが、これについても皆様、一応、一通り目を通していただけるとありがたいと思います。

では、委員の方から何かありますでしょうか。ありませんか。

では、最後に、次回開催予定について、事務局から説明をお願いします。

○千葉主任 次回の開催予定についてですが、3か月後の8月に平成26年度第2回の会議を開催させていただければと思います。詳細な日程につきましては、今回と同様に幾つか候補日をお送りさせていただきます。参加できる方が多い日程での開催をさせていただきたいと思います。今回、2週間と広い範囲で日程のご予定を伺ったのですが、例えば、情報の整備のところには市のホームページ、今回の委員の中で副編集長も入っていらっしゃいますし、農協主催の啓発活動について入ってたりしますので、そのテーマごとに関連する方に先に日程を伺いまして、もう少し日程を絞った形で皆様には調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上です。

○南会長 ありがとうございます。

では、これをもって第1回の食育推進会議を終了したいと思います。皆様、お疲れさまでした。

— 了 —